自民党衆議院神奈川6区（保土ケ谷区・旭区）支部長
古川なおきの活動報告

# 古川なおきレポート

第153号
2021年9月1日発行

## ひとごと　じぶんごと
## 防災は他人事ではなく自分事

7月に静岡県熱海市で発生した大規模土石流災害の犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表します。この災害現場には横浜市消防局から延べ61隊220人の隊員が派遣され、7月3日から12日まで懸命な土砂かき出し作業を続けた結果、高齢女性1名を救出することができました。

2021年7月熱海 自衛隊の災害派遣活動

現在はコロナ対策最優先ですが、防災対策も人の命に関わる大変重要な政策です。首都圏においては、今後30年以内に70%の確率で首都直下地震が起きると予測されています。首都直下地震は、起きるか起きないかではなく、今この瞬間に起こっても決して不思議ではないという段階にあり、地震による死者は2万3千人にのぼり、その7割の1万6千人は火災が原因で死亡するとされています。

昨今、日本中いたるところで地震や河川の氾濫、土石流など大規模な自然災害が発生しています。行政も危険が想定される地域の把握や周知、対策などに取り組んでいますが、防災のために最も重要なことは、まず我々一人ひとりが日頃から“備える”ことです。

東日本大震災は津波などにより2万人以上の犠牲者を出す大惨事でした。しかし岩手県の沿岸部にある釜石市の児童・生徒約3千人は、自主的に判断し高いところ高いところへと避難することで津波の危機から脱しました。釜石市では2005年から群馬大学の片田敏孝教授(当時)の指導のもと小中学校合同の避難訓練を行っていました。日頃の学びと訓練が緊急時に活かされたこの話は「釜石の奇跡」と呼ばれ防災教育の教訓とされています。

2011年 東日本大震災

防災は他人事ではなく自分事です。日頃から家族で防災について確認し合い、自分が住んでいる地区の危険度を把握しておきましょう。横浜市は各区のハザードマップ(危険地域地図)を作成し各区役所などで配布しています。国土交通省のホームページにある「重ねるハザードマップ」から情報を得ることもできます。できれば、離れて暮らすご家族やご友人が住んでいる地域も調べ、それらの地域に大雨特別警報や土砂災害警戒情報などによる避難指示が発令された場合には、その方々に連絡をして避難行動を呼びかけてください。

自民党

行政から避難指示が発令された場合でも、ご自分のお住まいの地区の危険度が正しく理解できて安全が確保できていれば、無理に避難所に行く必要はありません。避難とは難を逃れることで、避難所に行くことがすなわち避難ではありません。

首都直下地震は建物の耐震化を進めるなど火災対策を徹底することで死者が想定されている10分の1の2千3百人にまで減らせるという試算があります。古川なおきはこれまで、大規模災害時に自衛隊との連携が円滑に取れるようにするため、陸上自衛隊や海上自衛隊のOBを横浜市の危機管理を担当する職員に雇用するよう努めてきました。これからは、国に対して災害に強い街づくりのために十分な予算措置を講じるよう働きかけます。いざ災害が発生した際には迅速に対策に当たることができる体制を整えなければなりません。現在自衛隊への派遣要請は都道府県が行うことになっていますが、古川なおきは政府に対し、横浜市のような政令指定都市は直接自衛隊に派遣要請できるよう権限の移譲を求めます。

2004年 新潟県中越地震

**重ねるハザードマップ**
https://disaportal.gsi.go.jp/

## 家族で確認しよう！
## 防災対策チェックシート

- □ 家具や家電製品は転倒しないよう固定してある
- □ 棚の上に落下しやすい物を置いてない
- □ 塀や壁などが崩れないように点検している
- □ 消火器が設置してある
- □ 厚底の靴を用意してある
- □ 停電しても災害情報を入手する手段がある
- □ 非常持出袋がすぐに持ち出せる場所にある
- □ 避難場所への経路を複数把握している
- □ 家族の連絡方法を決めている
- □ 家族が集合する場所を決めている

## 古川なおき学生スクエア 只今、メンバー 募集中！

やる気のある学生さん。どなたでもご参加ください！

### 5つの魅力！ 他ではできないオンリーワンの体験をしよう！

1. 経済・外交・福祉・防衛など幅広い時事の問題について学んでいきます。
2. スピーチの機会などを通して相手に伝わる話し方のコツを学んでいきます。
3. 議会見学や各行政機関、企業訪問など、生の体験を通して見聞を広めます。
4. 事務所には多くの学生が集い、大学の垣根を越えた仲間があなたを待っています。
5. 延べ200人を超えるOBが各分野で活躍しており、社会人への第一歩を学ぶ機会もあります。

| | |
|---|---|
| 待遇 | 当方で定める活動に参加した場合交通費支給有り（上限あり） |
| 勤務時間 | 朝の駅頭（6:30 – 9:00）、日中の活動（9:00 – 17:00）<br>イベント等の場合は適宜相談。<br>イベントを開催する場合、時間外・休日の勤務あり。（適宜相談） |
| 期間 | 決定次第 ～ 継続してきていただける方（応相談） |
| 対象 | 大学学部生、大学院生、既卒者、専門学校生 |
| 必要な技能、経験 | 特になし　やる気のある人 |
| 応募方法 | ＜メール＞または＜電話＞でご連絡下さい。<br>追って面談させて頂きます |

## 古川なおきプロフィール

- 1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- 希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- 横浜銀行、 議員秘書を経て旭区より1995年横浜市会議員26歳最年少当選（現在7期目）
- 自民党横浜市議団団長、政務調査会長を歴任
- 2021年4月 自民党衆議院神奈川6区支部長に就任
- 希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
  旭区サッカー協会 顧問／旭区卓球協会 顧問
  旭区スポーツダンス協会 顧問
  旭区剣道連盟 顧問／旭区食品衛生協会 顧問
- 2018年横浜マラソン完走（5時間8分）

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1
TEL：045-391-4000
FAX：045-366-9700
E-mail：jm@furukawa2002.com

ホームページ　ブログ